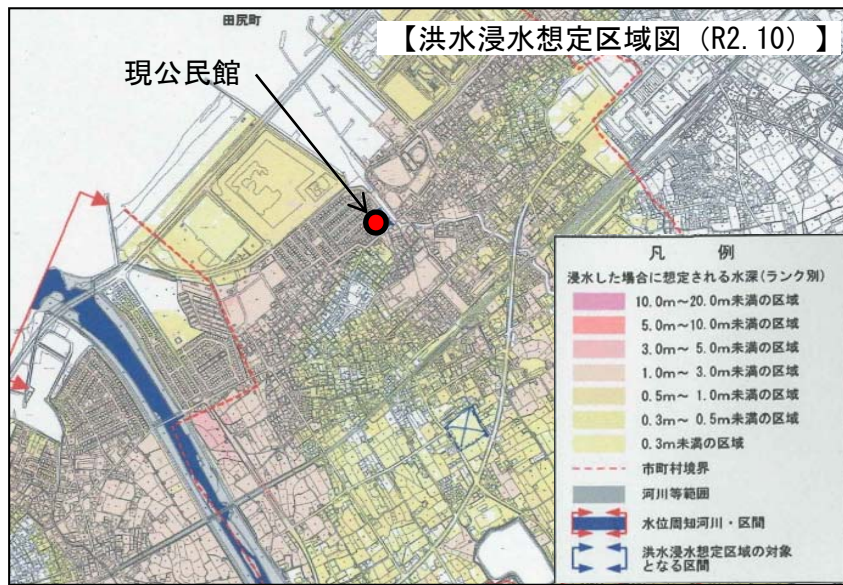


(仮称) 田尻町総合文化センター基本構想<概要版>

現田尻町公民館の現状と課題①：老朽化、防災時対応

- 田尻町における社会教育活動拠点として38年間に渡り中心的な役割を果たしてきましたが、施設や設備も老朽化が激しく、施設・設備の改修又は更新が必要です。
- 新耐震以降の建物ではありますが、特に屋上及び外壁からの漏水が多数確認でき、適宜修繕を実施するも一時的な問題解決にとどまり、根本的な改修には程遠い状況です。
- 樫井川水系洪水浸水想定区域における現公民館は浸水時水深1.0～3.0m未満区域に該当します。



現田尻町公民館の現状と課題②：利用実態

○利用状況からの課題

- ・大ホールや和室は稼働率が高いが、大ホールでの利用定員に対する利用数は少ないです。
- ・20人程度で利用する講座室や和室の稼働率が総じて高い傾向にあります。

<稼働率>

	H29	H30	R1
大ホール	38.5%	36.5%	31.0%
和室	47.2%	47.2%	45.8%
講座室 (20人)	33.2%	30.3%	33.5%
陶芸室	10.8%	10.0%	10.0%
料理室	19.5%	24.5%	21.4%

○住民アンケートやワークショップ等での意見徴収

- ・図書室の蔵書が少ないため、図書機能を充実して欲しい。
- ・規模は現在と同じくらいでよいが、多目的に利用できるホールがよい。
- ・大きいホールとは別に軽運動や演奏練習等ができる部屋が欲しい。
- ・飲食できるスペースやラウンジが欲しい。
- ・参加したい講座等がないため、魅力的な講座等をして欲しい。
- ・田尻歴史館と連携して欲しい。
- ・駐車場、駐輪場施設の整備 (拡充)
- ・室内が暗い雰囲気を利用しづらい。
- ・多世代が利用できる施設づくり、特に若年層の利用促進できるよう工夫して欲しい。
- ・避難施設や備蓄倉庫等を整備する等、防災拠点となる施設づくりが必要。
- ・沿岸付近で整備する場合は1階部分を駐車場にして、上階に施設機能を整備して欲しい。

新施設に必要な諸室・規模

	既存公民館		⇒		総合文化センター	
敷地面積	2,869㎡		⇒		4,500㎡	
延べ床面積	2,017㎡		⇒		4,030㎡	
施設内容	大ホール	1室 214㎡	⇒	1室 300㎡	250席程度	
	多目的室	— —	⇒	2室 150㎡	軽運動等	
	講座室	3室 128㎡	⇒	3室 150㎡	20名/室程度	
	和室	1室 38㎡	⇒	1室 40㎡	20～24帖	
	陶芸室	1室 40㎡	⇒	1室 40㎡		
	料理室	1室 40㎡	⇒	1室 40㎡		
	図書室	1室 118㎡	⇒	1室 450㎡	5万冊程度	
	自習室	1室 23㎡	⇒	1室 40㎡		
	(小) 会議室	1室 44㎡	⇒	1室 40㎡		
	視聴覚室	1室 80㎡	⇒	1室 80㎡		
	音響室	1室 20㎡	⇒	1室 30㎡		
	多目的空間	— —	⇒	1室 150㎡		
	ラウンジ	— —	⇒	1室 60㎡		
	展示空間	— —	⇒	1室 120㎡		
	駐車場	— 28台	⇒	— 40台		
	駐輪場	— 10台	⇒	— 30台		

【整備候補地 位置図】

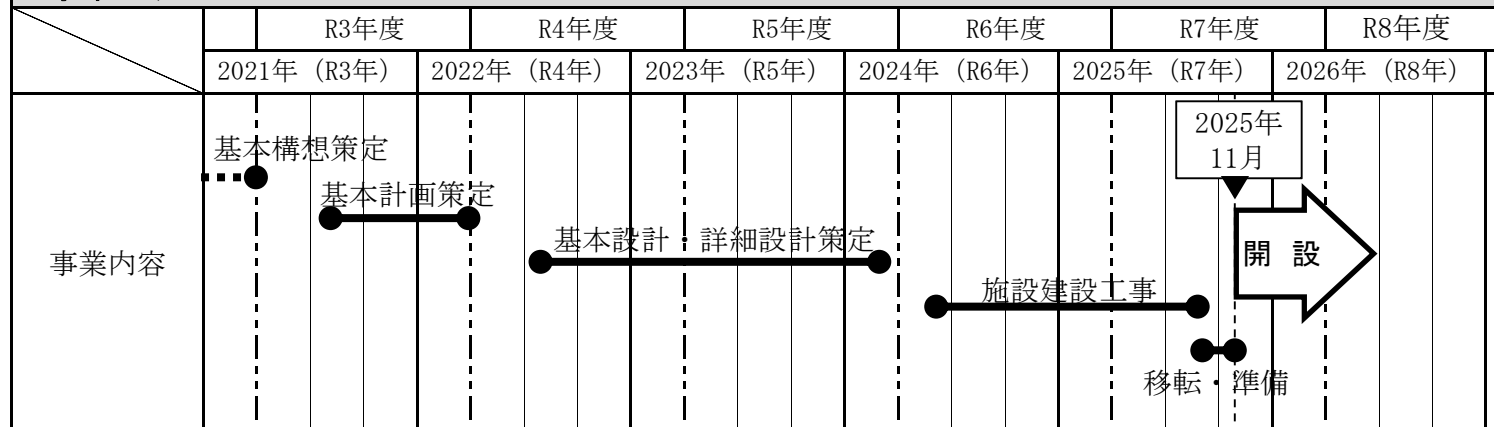


※町市街地のほぼ全域が浸水想定区域内であるため、新施設の地上階は駐車場等の浸水時被災が最小限になるよう整備することが望ましい。

総合文化センター整備の方向性

- 施設整備案を比較、評価した結果、③案の「駅上広場に総合文化センターを整備」を基本の方針として、整備検討を進めていきます (裏面に施設整備案の比較検討表を提示)。
- 総合文化センターは、一つの建物に文化芸術事業のための施設を有する施設や生涯学習施設 (公民館施設を含む。)、図書機能を有する複合施設を予定していますが、施設の法的位置づけ、種類については、引き続き住民、利用者の意見を十分に聞きながら検討を行います。

事業スケジュール



(仮称) 田尻町総合文化センター基本構想<概要版>

施設整備案の比較検討表

凡例：◎…構想案を十分満足/負担がかなり小さい、○…構想案を満足/負担が小さい、△…構想案にやや未達/負担が大きい、×…構想案にかなり不足/負担がかなり大きい

構想案	①案 現公民館を改修・増築利用	②案 現公民館場所で建替え	③案 駅上広場に建替え	④案 駅上広場に建替え+跡地利用 (現公民館改修 再利用)	⑤案 駅上広場に建替え+跡地利用 (現公民館を新建物に建替え)
	評価	評価	評価	評価	評価
敷地規模	2,869㎡ ×	2,869㎡ ×	8,000㎡ ◎	8,000+2,869㎡ ○	8,000+2,869㎡ ○
整備イメージ					
施設規模	想定床面積 3,500㎡ 想定階数 (増築部分) 4階建	想定床面積 4,000㎡ 想定階数 5階建	想定床面積 4,500㎡ 想定階数 3階建	想定床面積 4,000㎡ (図書なし) 想定階数 3階建 ※跡地施設 2,000㎡ 3階建	想定床面積 4,000㎡ (図書なし) 想定階数 3階建 ※跡地施設 3,500㎡ 3階建
整備内容	<ul style="list-style-type: none"> 現況建物では新施設規模を満たさないため東駐車場側に増築する。 増築する場合、地上階を駐車場としその上に増築することが想定されるため、増築部分は4階程度になる。 既存部分は間仕切変更等の大幅な改変を実施せず増築部分で図書室、多目的室等を追加整備する想定。 大ホールは可動式座席導入による改修で200名程度の座席確保可能。尚、座席収納スペースは必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 地上階の大部分を駐車場とし、4階一部5階建てで整備する。 2階に希望が多い所要室を配して、なるべく利用しやすく整備する。 大ホールは定員250名程度で整備し、可変式座席等を検討し、類似施設との差別化を図る。 敷地条件で高層建物になりやすく、建物以外の余剰地も少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 地上階の大部分を駐車場とし、3階建てで整備する。 階層は低層で計画し、駐車台数は増加して整備する。 大ホールは定員250~300名程度を想定し、可変式座席等を検討し、類似施設との差別化を図る。 新施設周囲の余剰地は防災機能を兼ね備えた防災公園を整備し、平時の住民利用の利便性だけでなく、緊急時は新施設と併用活用で高い防災機能を期待する。 現公民館の再利用・解体等は今後検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 既存公民館を再利用し図書室、資料館に改修する。(改修内容は最小限とする) ※現ホールの2層吹抜部の2階部分に床を増設することは困難でコスト、工期(設計・工事共)がかなり必要。 現公民館建物を図書館等有効活用することで、隣接の歴史館と合わせた文化ゾーンとしての位置づけを高めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 跡地建物は図書館及び資料館の併設建物を想定し、新設建物とする。 新図書館、資料館を隣接の歴史館と合わせた文化ゾーンとしての位置づけを高めることができる。
図書機能の蔵書数	4.0万冊程度 △	5.0万冊程度 ○	5.0万冊程度 ○	3~3.5万冊程度 ×	6.0~8.0万冊程度 ◎
駐車台数	20~24台程度 ※建物下柱によるスペースロスが多いため、青空駐車より台数が減少する。 ×	30~35台程度 △	50台程度 ◎	50台程度 ◎	50台程度 ◎
防災対応	<ul style="list-style-type: none"> 既存建物の浸水対策が課題。 			<ul style="list-style-type: none"> 既存建物の浸水対策が課題。(跡地施設との合計) 	<ul style="list-style-type: none"> (跡地施設との合計)
受入可能人数	大ホール、講座室等 550人程度 △	大ホール、講座室等 770人程度 △	大ホール、講座室等 870人程度 ○	大ホール、講座室等 1,160人程度 ◎	大ホール、講座室等 1,450人程度 ◎
津波避難収容人数	3階~屋上 1,400人程度 △	3階~屋上 1,400人程度 △	防災広場、駐車場含む収容可能場所合計 6,400人程度 ○	防災広場、駐車場含む収容可能場所合計 7,000人程度 ◎	防災広場、駐車場含む収容可能場所合計 8,000人程度 ◎
工事中の運営方法	既存建物改修中の仮設建物が必要。(先行整備の増築建物は一部利用) △	既存建物解体及び新施設建設時の仮設建物が必要。(現公民館以外) △	仮設建物等は不要。 ○	仮設建物等は不要。 ○	仮設建物等は不要。 ○
周辺への影響	<ul style="list-style-type: none"> 工事期間中は施設利用者と工事車両の通行が混在するため、周辺道路の通行に支障がでる可能性がある。 2方道路があるが標準的な幅員。 	<ul style="list-style-type: none"> 工事期間中は仮公民館利用者と通行が交差することはない。 一部5階部分の日影が北側住宅地で大きくなる 	<ul style="list-style-type: none"> 工事期間中は公民館利用者と通行が交差することはない。 	<ul style="list-style-type: none"> 工事期間中は公民館利用者と通行が交差することはない。 	<ul style="list-style-type: none"> 工事期間中は公民館利用者と通行が交差することはない。
総事業費(概算)	<ul style="list-style-type: none"> 既存建物改修費 350百万 増築建物新築費 980百万 仮設建物整備費 100百万 概算総事業費 1,430百万 	<ul style="list-style-type: none"> 新施設建設費 2,600百万 既存建物解体費 40百万 仮設建物整備費 150百万 概算総事業費 2,790百万 	<ul style="list-style-type: none"> 新施設建設費 2,900百万 概算総事業費 2,900百万 	<ul style="list-style-type: none"> 新施設建設費 2,600百万 既存建物改修費 420百万 概算総事業費 3,020百万 	<ul style="list-style-type: none"> 新施設建設費 2,600百万 既存建物解体費 40百万 跡地新施設 2,400百万 概算総事業費 5,040百万
事業期間	<ul style="list-style-type: none"> 増築工事 10ヶ月 仮設建物工事 3ヶ月 既存改修工事 8ヶ月 計) 21ヶ月 	<ul style="list-style-type: none"> 新築工事 15ヶ月 仮設建物工事 5ヶ月 既存解体工事 4ヶ月 計) 24ヶ月 	<ul style="list-style-type: none"> 新築工事 15ヶ月 計) 15ヶ月 	<ul style="list-style-type: none"> 新築工事 15ヶ月 既存改修工事 10ヶ月 計) 25ヶ月 	<ul style="list-style-type: none"> 新築工事 15ヶ月 跡地新築工事 12ヶ月 既存解体工事 4ヶ月 計) 31ヶ月
総合	◎=0 ○=2 △=4 ×=3 ×	◎=0 ○=2 △=6 ×=1 △	◎=4 ○=4 △=1 ×=0 ◎	◎=2 ○=5 △=1 ×=1 ◎	◎=3 ○=4 △=1 ×=1 ○